

## 全校朝会5月9日(月)の話よい

おはようございます。みなさんが、とても元気な挨拶をしてくれるのがとても嬉しいです。豊南小学校の校舎にはたくさん掲示板があって、各学年で学習した作品や視写した詩、等いろんな掲示物をじっくり見ていると、一生懸命に学習している姿が浮かびます。校長室前の掲示板には、掲示板の絵と「4月と卯月」、「5月と皐月」と掲示しています。これからも月ごとに掲示を増やしていく予定です。そして、毎月、その月の詩を掲示しています。通った時にまた、読んでください。そこに掲示している詩を読みます。5月にちなんだ詩です。竹中郁さんの「竹のように」です。

### 竹のように 竹中郁 作

のびろ のびろ まっすぐ のびろ こどもたちよ  
竹のように のびろ風をうけて さらさらと鳴れよ 日をうけて きらきらと光れよ  
雨をうけたら じっとしてろ 雪がつもれば いっそうこらえろ  
石をなげつけられたら かちんとひびけ ぐんぐん 根をはれ  
土の中で その手とその手を がんじがらめににぎりあえ  
竹 竹 竹 竹のように  
のびろ 五月のみどりよ もえあがれ

竹は節を作ってどんどん成長します。「たけのこぐん」という詩を覚えていますか？国語の教科書で習ったと思います。

### たけのこぐん 武鹿悦子作

たけのこがぐん せのびしてつちをわたたよ  
あたまをきりり つゆをのせてる  
あさのおほしさんに もらったのかな  
たけのこのびろ ぐん

(2年生の子どもたちが私といっしょに「たけのこぐん」の詩を言ってくれました。)

4月にはたけのこが顔を出し、今や、竹になりどんどん節を作って大きくなっていきます。竹の節から節目と言う言葉も出てきています。節目は物事における区切りという意味ですが、1つ成長する、学習するたびに1つの節目を作って、大きく大きく皆さんが成長していくこととつながりますね。竹はそれだけではありません。私たちの生活になくてはならないものです。たけのこは食べることができます。竹の皮で包んだおにぎりは風味も良くなり長持ちします。竹は大きくなったら、いろんなものにもなります。7月には七夕の竹と笹になりますが、竹で家を作ることも出来ます。たけかごやいす、家具等…竹を利用して、私たちの生活に役立ってくれています。エジソンが電球を発明した時、フィラメントという重要な部分に竹の繊維を使いました。実は日本の京都の八幡市の竹を使ったそうです。その竹が一番長く光をともしたそうです。町やおうちを明るく照らしてくれているもとは竹のおかげです。今日は5月の詩・竹の詩を読み、竹について話しました。みなさんも、竹のようにすすくと心も体もたくましく、しなやかに成長してほしいと願っています。

\* エジソンの3大発明…蓄音機、発熱電球、映写機を発明しました。\* 竹からできたもの…お箸、竹かご、ざる、ひしゃく、ほうき、べんとうばこ、竹とんぼ、ものさし(竹尺)しゃくはち、竹笛(楽器)…などなど\* 竹にちなんだ物語…竹取物語、「かぐや姫」の物語はみんな知っていますね。

これからは感染予防と熱さ対策を同時に行っていく必要があります。休憩時間には水分補給をしてください。もちろん、手洗いもよく行ってください。